

Catch Ball



6月30日 30歳以下の青年部員とJA若手職員との合同研修会（チェアヨガ）を開催

CONTENTS

- 特集：気をつけよう！農作業事故 … 1～2
- 小学校で食育授業・1日ホクレン … 3
- 料理サークル開催・フォトだより … 4
- 女性部三役研修レポート … 5
- 理事会だより 他 … 6
- 8月の営農技術対策 … 7～9
- 営農ルーキーズ・こよみ 他 … 10
- JAグループ通信 … 11
- 青年部特集・
JAびばい農場通信・川柳 … 12
- 共済ホットライン … 13

●スプラピパラの一言●

JAびばい【お盆期間の営業】は、広報誌内P6に掲載しております！
15～16日は事務所・営農ステーションともにお休みを頂きますので、ご確認の上ご来協ください。
ご協力宜しくお願い致します。





—— 農作業は危険と隣あわせ ——

気をつけよう！農作業事故

毎年、農作業中に起こる事故は後を絶ちません。平成28年度の北海道内における農作業事故死亡者数は12名。

一体どのような状況で事故が起きたのか？防ぐことはできなかったのか？過去の事例を紹介しますので、農作業事故を未然に防ぐ参考にしてみてください。



農機による死亡事故の4分の3がトラクターや運搬車

2015年の機種別の事故発生状況は《乗用トラクター》による事故がもっとも多く、次いで《農用運搬車（動力運搬車、農業用トラック等）》《歩行型トラクター》とこれら3機種で農作業死亡事故全体の約半分を占めています。

原因別で見ると乗用トラクターでは《機械の転落・転倒》がもっとも多く、歩行型トラクターでは《挟まれ》に次いで《回転部等への巻き込まれ》が多くなっています。農用運搬車や自脱型コンバインでも、乗用トラクター同様《機械の転落・転倒》がもっとも多いです。

増加の一途をたどる

高齢者による農作業死亡事故

現在、65歳以上による農作業死亡事故は全体の8割を占めています。ではなぜこんなにも多くの高齢者が事故を起こしてしまうのでしょうか。

社会全体の問題になってきている高齢化は農業にも暗い影を落としています。事故の原因は高齢の農業者が増えただけでなく、後継者不足により今まで若者がやってきたきつい農作業も高齢者が中心にならざるを得な

くなっていること、高齢者に合った環境整備や農機具開発の遅れなども深く関連していると考えられます。

また長年の知識と経験を持つていても、年を追うごとに身体能力は低下し、衰えていきます。農作業事故を起こさないためにも、安全策を徹底する必要があるといえるでしょう。

【もしも】に備えて 共済・労災に加入しよう

平成28年度の農作業死亡事故に見る共済・労災加入状況は十分とはいえず、約半数の人が共済・労災に加入していませんでした。

事故に遭い1カ月仕事ができなかったら？残された家族は？自分ではない人に怪我を負わせてしまったら？など【もしも】のために共済・労災に加入しましょう。

トラクターの安全運用のために
《安全装備》《日常点検》を

J Aの自動車共済

どんなに気をつけていても発生してしまうのが事故です。そんな事故に遭ってしまったときのために、JAの自動車共済に加入しましょう。

詳しくは広報紙内13ページの共済ホットラインに掲載していますので、そちらをご覧ください。

牡羊座



レジャー運が活性化。親しい仲間たちとにぎやかに過ごすそ英気を養えそう。人気スポットに足を運ぶのも刺激大

《モナ・カサンドラ》

8月

今月のあなたの運勢

2017.8

1

農作業における死亡事故発生件数は全国で毎年約400件と横ばいですが、就業人口当たりの件数は増加傾向にあります。また、就業人口10万人当たりの死亡事故発生件数は、全産業平均の4倍強と高い水準になっています。

さまざまな理由により命を落とした実例をもとに、農作業時の安全確認と事故予防策を見直し、事故を未然に防ぎましょう。

89歳 男性の場合

花き栽培用ハウス周りの除雪を行っていた。子が帰宅し除雪機のエンジンがかかった状態で動いていないのを確認。近づいたところ仰向けに転倒し、除雪機が胸部上部で止まった状態の当人を発見。病院に搬送されたが胸部外傷により死亡。

事故発生日 3月25日

73歳 男性の場合

ほ場に向かうため国道をトラクターで直進し、ほ場に入るため左折しようとした際、後方から直進してきた車に追突され、道路脇の側溝にトラクターが落下し横転。全身を強く打ち死亡。

事故発生日 4月30日

60歳 男性の場合

敷地内においてディスクモアを取り付けたトラクターでの草刈りを実施。トラクターとディスクモアの調整中、誤って巻き込まれ死亡。

事故発生日 6月18日

68歳 女性の場合

ミニトマトハウス内で収穫作業中、高温のため気分が悪いと言いハウス外で座り込んだ。嘔吐はしていなかったが、病院を受診。翌日別の病院を受診後また違う病院を受診。即日入院し、2日後熱中症による急性呼吸不全で死亡。

事故発生日 8月4日

51歳 男性の場合

トラクターにモアコンディショナーを取り付けて公道を走行。ほ場入口で右折しようとした際、後方から追い越しをかけてきた自動二輪車がモアコンディショナーに衝突。自動二輪車を運転していた者が死亡。

事故発生日 8月23日

91歳 女性の場合

収穫した大豆を積んだコンテナを倉庫へ運搬する作業中フォークリフトにはねられ、病院へ搬送。多発外傷及び多発骨折、右腎出血による出血性ショックのため死亡。

事故発生日 10月27日

農業者のための「労災保険特別加入制度」

現在JAびばい管内では187名(平成28年度)の方が労災保険に特別加入しています。労災保険は本来、労働者の負傷、疾病、傷害、死亡等に対して保険給付を行う制度ですが、労働者以外の方であっても、その作業の実態や災害の発生状況などからみて、特に労働者に準じて保護する必要があると認められる一定の方々に対して特別に任意加入を認めています。万が一のために加入しませんか？

お問い合わせはコチラ JAびばい総務課 TEL63-2161



出前授業と給食で食育一体化



「アスパラの実はどれかな？」の問いに一生懸命手を挙げる子供たち

6月15日、美唄市立中央小学校3年生2クラス50名に美唄特産のアスパラガスなどについて出前授業を行った。

この授業はJAが6月12日に給食用に贈ったアスパラガスがメニューとして出される日に合わせて行われ、今年で3年目になる。先生はJAの若手職員4名が務め、美唄におけるアスパラガスの生い立ちや、なぜ美唄のアスパラは有名なのかなどを、手作りした映像を織り交ぜながらクイズ形式で授業をした。またJA管内で生産される他の農産物やJAの仕事についてもわかりやすく説明した。

3年1組の高橋健太くんは「アスパラや野菜のことをクイズにしてくれてとても楽しかったです」と元気に話した。また同組の小林玲士くんは「いつもよりたくさんアスパラを食べました」と笑顔で話した。

先生を務めた農産園芸課の山本峻也職員は「飽きないよう毎回アイデアを絞っている。子どもたちの反応が次の授業の糧になる」と意欲をみせた。

この出前授業は22日にも美唄市立東小学校の3年生2クラス51人に行われた。

1日ホクレン

3年ぶり開催

6月29日、JAびばい3階大会議室においてホクレン岩見沢支所主催の1日ホクレンが開催され、関係者ら48名が出席。ホクレンより平成29年度の課別事業推進重点事項などが説明された。

説明後の質疑応答、意見交換では、うるち米を巡る情勢や生産資材の安価供給対策について、またAコープ協同機構の戦略についてなどが議論され、ホクレンに対する要望が出席者らから積極的に述べられた。



JAびばい役職員や各団体役員、ホクレン職員らが一堂に会した

獅子座



積極性が高まる時期です。やってみようことには、どんどんトライして。意欲的に取り組み、うまくいこう

蟹座



ゆったりできる月。やるべきことを済ませたら、のんびり自分の時間を満喫しましょう。グルメを楽しむのも◎

2017. 8

女性部は6月26日、JAびばい2階研修室において、第1回目となる女性限定の料理サークルを開催し、11名の参加者がそれぞれ手料理を持ち寄り、試食会を行った。

このサークルはJAびばい管内の女性組合員もしくは、組合員の女性家族であれば誰でも参加でき、参加するために女性部への加入は強制しない。地域や年齢の枠を超えて料理を楽しむサークルを目指し、今後毎月1回の開催を予定している。

女性限定 料理サークル



持ち寄った料理を試食し、会話を楽しむ参加者ら

らいす工房内の農業倉庫において、青年部の農村環境美化運動の一環である農業用古びニール・ポリ類回収が行われ、青年部員らのべ24名が作業に当たった。

この3日間で回収したビニールなどは合計約68トンで、昨年より3トン多くなった。
(6/20~22)



出向く事業【絆体制】が北美唄連合会の会館清掃と交流会に参加した。

会館清掃では女性では届かないような蛍光灯の拭き掃除や会館の外壁掃除を手伝った。交流会では組合員とともにコンロを囲み、交流を深めた。

(会館清掃6/27)
(交流会7/6)



フォト
だより

旧中村農協跡で第31回目となる中村町民の集いが開催され、多くの町民らが参加した。

会場ではドラム缶を半分に切って作られた特製コンロを囲んで焼き肉を楽しんだほか、昔ながらのビンつり競争や美唄市消防団キヤリ保存会による美消太鼓が披露された。(7/2)



味噌作り講習会の2回目、味噌の切り返しにJAびばい研修室で行われ、3人の受講者が参加した。

切り返しは昨年12月に仕込んで寝かせておいた味噌の発酵むらやカビ発生を防止するため、味噌作りに欠かせない作業のひとつ。受講者は「味噌に触れる機会が多く、とても勉強になる」と笑顔で話した。

(6/15)



第60回空知管内JA野球大会が開催され、JAびばい野球部は初戦連合会合同に快勝。しかしJAみねのぶとの2回戦で健闘及ばず惜敗した。

(6/26)



女性部三役研修レポート

静岡県方面

ＪＡびばい女性部三役は、6月19日より3日間、静岡県方面を訪れ、「ＪＡ遠州中央」「ＪＡみっかび」への視察研修を実施しました。

【ＪＡ遠州中央】

ＪＡ遠州中央は平成4年に12ＪＡが合併し、南は遠州灘から北は長野県境まで南北約80キロ、東西約20キロの広さを有します。茶、稲作、白ねぎ、海老芋、メロンなど100種類以上もの農畜産物を生産し、ファーマーズマーケットや直売所を充実させ地域密着型経営を目指しています。

○女性部と茶摘み・茶席体験で交流

お茶を名産とするＪＡ遠州中央では、茶処体験施設「香りの丘茶ピエ」で、女性部の皆さんと交流しながら茶摘みと茶席を体験しました。

今年1月に開催した農村女性講座「お茶の美味しい淹れ方講座」に講師としてお越しいただいた鈴木康一センター長の案内で、製茶過程に使用する蒸機や粗揉機を見学した後、茶摘み衣装へ着替えて茶畑でお茶の葉を収穫。摘んだ葉はご厚意で天ぷらにいただきました。茶席でも美味しいお抹茶をいただき、「静岡茶」

の美味しさを存分に味わいました。



本格的な茶摘みを体験

ＪＡ遠州中央女性部は、部員総数3072名、11支部と「女性大学さぶりスクール」で構成されており、趣味別・目的別グループも盛んです。

各支部が誰でも参加できる「おためし体験教室」などを開催し門戸を広くしていること、また得意技登録制度「ときめきお助け隊」を設け部員の能力を活かすことで、女性部の活性化に繋がっています。

【ＪＡみっかび】

「三ヶ日（青島）みかん」という強力なブランド商品を持つＪＡみっかびは、周囲のＪＡが合併を進める中、独自の理念を持ち単独経営を維持しています。生産は柑橘類が多くを占めますが、ＪＡみっかび牛や養豚など畜産業も行っています。

○女性部との意見交換会

ＪＡみっかび女性部は部員総数494名（19支部）、過去5年間は約500名を維持しており、長年続いた減少傾向に歯止めがかかった状況です。各種講座の受講者数も安定しており、部員が減少しても「意味のある方が残ってくれている」という認識を持ち、また、現在の人数は女性がＪＡに意見を伝えるために最低必要数と考え、これ以上は減少させないという明確な意志があります。

目的別の講座や女性大学など充実した活動を行っています。若い人や子供がＪＡに来ることが大切と考え、特にフレッシュミズ世代の女性や子供が参加しやすい講座の開催に力を入れています。女性部のあり方についての考え方・企画・行動に一貫性があることが印象的で、見習うべき点が多くありました。



ＪＡみっかび女性部との意見交換会の様子

今年度の視察研修は、やりがいと楽しさのある女性部作りの参考にすべく、目的別グループや各講座、女性大学などが充実している女性部を訪ねました。女性部活動はもちろん、「お茶・みかん」という全国に通用する名産品を、誇りと自信を持って栽培する生産者とＪＡに刺激を受け、女性部だけではなく当ＪＡの今後の方向性も考えさせられる視察研修でした。

【研修参加者】

川田 照子（部長）
谷村 清美（副部長）
板東 知子（副部長）
藤田友里佳（事務局）

射手座



思い切って攻めの姿勢で動くのがベスト。行動範囲を広げれば、それだけチャンスアップへ。海外絡みも幸運

蠍座



何かとプレッシャーを感じがち。他人と比較せず「人は人、自分は自分」と割り切って。花を飾るとラッキー

理事会だより

定例理事会6月23日

定例理事会

報告

- ①平成29年度5月末現在、業務財務報告
- ②常務委員会報告
- ③コンプライアンス委員会報告
- ④信用事業リスク管理強化委員会報告
- ⑤農家経済改善対策委員会報告
- ⑥JAびばい農業倉庫建設委員会報告
- ⑦その他

議案

- ①平成29年度第1・四半期末監査意見報告
- ②個人情報保護法改正に伴う個人情報取扱規程等の一部改定について
- ③平成29年度管理債権回収計画について
- ④営農計画書等の審査方針・基準の設定について
- ⑤その他

…全議案承認

その他報告事項

- ①平成29年度JA共済3Q訪問推進実績報告
- ②平成29年度経営所得安定対策交付申請状況報告
- ③平成28年度収入減少影響緩和対策交付状況報告



- ④平成28年度新規就農応援事業状況報告
- ⑤平成29年度産米穀・大豆等出荷契約状況報告
- ⑥平成30年度小麦播種前契約状況報告
- ⑦経済事業業況報告
- ⑧その他



最新の 営農技術から 農畜産物の 市場見通まで…

購読のお申込みはコチラ↓
JAびばい企画相談課 (TEL63-2165)
定価1か月2,520円

食農情報をリードする
THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<http://www.agrinews.co.jp>

お詫びと訂正

キャッチボール7月号
P12掲載の新役員紹介に誤りがありました。
正しくは下記の通りとなります。
大変申し訳ありませんでした。

【誤】羽田勝美 理事
↓
【正】羽田勝美 監事

お盆期間の 営業日と 休業日のお知らせ



ご理解、ご協力の程
宜しくお願い致します

	事務所 ステーション	信用フロア	A T M	A コープ	スタンド
8月12日(土)	× 農業資材課は営業	×	○	○	○
8月13日(日)	×	×	×	○	○
8月14日(月)	○	○	○	○	○
8月15日(火)	×	○	○	○	○
8月16日(水)	×	○	○	○	○
8月17日(木)	○	○	○	○	○

2017. 8

水瓶座

6



心理的に不安定になる暗示。大きな決定は避けた方が無難です。ゆったり構え、美しい物事に触れてみましょう

山羊座



あれこれマイナス思考になりやすいかも。親切にされたら邪推せず素直にお礼を言うのを忘れずに。笑顔が必須

水稻

1. 高品質確保のために病害虫防除の徹底を！！

【いもち病対策】

- ・ほ場の見歩き調査を実施し、発病を確認したら直ちに防除を行いましょう。
- ・基幹防除の終了後も安心することなく、過去に発生した場所など発生しやすい場所を中心に観察を行い発生が見られた場合は、追加防除を行いましょう。

【カメムシ（アカヒゲホソミドリカスミカメ）対策】

- ・出穂期以降、成虫、幼虫は穂に集まり、登熟中の玄米を吸汁します。
- ・カメムシの予察情報を参考に、補完防除を行い高品質生産に努めましょう。

2. 根の活力を維持して、腹白・心白を防ぎましょう

- ・登熟後半まで土壌水分をしっかりと保ちましょう。
- ・落水は適正な時期に。土壌水分70%以上を確保（出穂後25日間）しましょう。
- ・間断灌漑・走水を実施し、用水停止後の干ばつを回避しましょう。（長期予報等活用）



小麦

1. 緑肥を導入し、地力の増進を図りましょう！

●緑肥の根が張ることによって、表1 緑肥参考例

土壌を膨軟にし、透水性等が改善されます。

●緑肥により土壌が覆われることにより、雑草の生育を抑制されます。

●緑肥作物は窒素や加里含量が高く、土壌中で分解するとこれらの養分が放出され、後作物に吸収利用されます。

品 種	播種量	播種期限	作付目安	基準生育期間	基準処理
ハイオーツ	10kg / 10a	8月 5日	秋小麦→秋小麦	3 5 日	すき込み
		8月10日	秋小麦→春小麦	4 5 日	
			秋小麦→大豆	4 5 日	
			初冬春小麦→秋小麦	3 5 日	
			初冬春小麦→春小麦	4 5 日	
			初冬春小麦→大豆	4 5 日	
		8月20日	なたね→秋小麦	3 5 日	
			なたね→春小麦	4 5 日	
			なたね→大豆	4 5 日	
キカラシ	2kg / 10a	8月 5日	秋小麦→秋小麦	3 5 日	すき込み
		8月10日	秋小麦→春小麦	4 5 日	
			初冬春小麦→秋小麦	3 5 日	
			初冬春小麦→春小麦	4 5 日	

2. 秋まき小麦の事前作業を徹底しましょう

- ①排水対策を実施し、ほ場の停滞水を無くしましょう。
- ②土壌pHの改善により、小麦の生育環境を作りましょう。
- ③播種作業機の整備・点検を行いましょう。
- ④播種日の設定をし、適期作業に努めましょう。

必ず1カ所は土壌分析し、ほ場の評価を行って土壌養分のバランスを調べましょう！

大豆

1. 害虫の食害から大豆を守りましょう 表1 参照

表1 病害虫防除期

7 月	8 月			上 旬	
下 旬	上 旬	中 旬	下 旬	上 旬	
着莢期	子実肥大期				
①マメシクイガ防除					
	②マメシクイガ防除				
			← ← 病害虫防除 → →		

《マメシクイガ防除》

- ①プレバゾン4,000倍＋スミチオンまたはエルサン1,000倍
- ②①の7日～10日後を目安として、バイスロイド1,000倍

表2 薬剤使用例

用 途	薬剤名	倍率・薬量 / 10a	使用基準
ハスモンヨトウ	プレバゾンFL	4,000 倍・25cc	収穫7日前・3回まで
アブラムシ・ツメクサガ	バイスロイド乳剤	1,000 ～ 2,000 倍・50 ～ 100cc	収穫7日前・3回まで
	トクチオン乳剤	1,000 倍・100cc	収穫30日前・3回まで
マメシクイガ・ヨトウ類	トレボン乳剤	1,000 倍・100cc	収穫14日前・2回まで
ハダニ類	ニッソラン乳剤	2,000 ～ 3,000 倍・33 ～ 35cc	収穫7日前・2回まで
べと病・莢疫病	レーバスFL	1,500 ～ 3,000 倍・33 ～ 66cc	収穫7日前・3回まで



2. 雑草の抜き取りを行いましょ。

- ・雑草が目立つことにより、間作小麦の導入が困難になります。
- ・大豆の生育促進を図り、また被害粒（汚粒）を軽減しましょう。
- ・収穫時の作業の効率化に繋がります。

農作業中の事故や
農薬のドリフトには
十分注意しましょう！

なたね

1. なたね播種に向けて、事前作業を徹底しましょう

- ・播種前には必ず、雑草対策を行いましょ。
- ・心土破碎による排水対策を行い、地表面排水性を改善しましょ。
- ・pHを5.5以上に矯正し、なたねの生育環境を作らしましょ。
- ・播種作業機の整備・点検を行いましょ。

2. 播種時期

- ・播種日の設定をし、適期作業に努めましょ。
- ・8月25日～31日を目安に播種を行いましょ（9月5日播種晩限）

基 肥	施用量	備 考
B B 5 3 2	40kg / 10a	側条施肥

播種の遅れは収量・品質の低下を招きます！
作業が遅れないようしっかりと計画を立てましょ！



営農さぽーと



本年度の事業運営方針の柱に掲げた『営農技術さぽーとチーム』ですが、5月春耕期から現地講習会・品種比較試験・定点調査などを中心とした取り組みがスタートしました。

水稲・畑作・園芸各チームの主な活動状況を報告して参ります。

水稲

これまでのさぽ～と

天候不順の中、適切な水管理、いもち病の適期防除をお願いして参りましたが、移植直後のバラツキも回復し順調に生育しております。

- ・水稲移植深度による生育状況調査35件

8月のさぽ～と

弱冠莖数不足傾向のまま推移しておりますが、低温、高温を繰り返す生育状況の中、遅れ穂に対するカメムシ防除、いもち予防がポイントとなります。

畑作

これまでのさぽ～と

秋小麦については収穫中ですが、施肥量を多くしていただいた結果、弱冠の倒伏が見られますが、春先の雪腐れの影響を最小限に抑えられたと思います。大豆については、順調には種を終え、以後の初期生育にて多雨傾向から、べと病の発生率が高く、早めの予防をお願いして参りました。

- ・麦圃場巡回40件 ・現地講習会1回 ・大豆圃場巡回4件

8月のさぽ～と

大豆作付面積の増加により、マメシンクイガの発生が増加しているように思われます。折角収穫まで管理を行った結果が食害で落等では悔やみきれないと思います。開花期を迎え、マメシンクイガの防除を確実にお願いします。

麦収穫後の緑肥による地力改善が来年の大豆作付に大きなメリットとなります。ぜひ緑肥の導入により、地力の回復をお願いします。

園芸

これまでのさぽ～と

アスパラについては、不順な天候の影響を受け収量が上がりず、春取りは残念な結果となりましたが、露地ハウスとも斑点病・茎枯・カメムシ・アザミウマの防除の徹底をお願いして参りました。

- ・玉葱定点調査12地点 ・アスパラ定点調査4地点 ・アスパラ圃場巡回8件 ・アスパラ品種試験18品目

8月のさぽ～と

夏芽の収穫中ですが、病虫害防除の徹底をお願いします。

- 病害虫の発生が多い時期です。ほ場観察に努め、適期防除を行いましょう。
- 収穫が終了し、生育中に土壌病害がみられたほ場は、土壌消毒や緑肥の作付けを検討しましょう。

アスパラ

- ハウス作型は、かん水や追肥は遅れずに十分行う。また、温度管理は最低気温が15℃を下回る場合は、保温を行う。
- 夏芽の製品率の向上を図るため、下枝整理や除草を行い、日当たりの改善を図る。
- 斑点病やアザミウマ類、カメムシ類、ヨトウムシ類の防除を実施する。露地作型は、茎枯病の防除を徹底する。

トマト

- 高温時は果皮の表面にひび割れ（放射状裂果）が生じやすくなるため、乾燥後の多量かん水は避けるなど、乾湿の差をできるだけ少なくする。
- かん水量は、8月中旬頃までは多めのかん水とし、葉を繁らせて、果房に強い直射日光が当たらないようにする。
- アザミウマ類、コナジラミ類や灰色かび病の発生に注意し、防除を行う。



ズッキーニ

- 曲がりや尻太果などは早めに摘果する。また、草勢の低下はうどんこ病が発生しやすくなるため、予防防除や追肥、葉面散布など草勢維持に努める。製品率を上げるため、早朝に人工授粉を行う。

スターチス

- 黄化や蒸れ、かびの原因となるので、採花遅れに注意する。なお、採花は、ツノが多少残っており、完全に咲かない程度とする。
- 製品率の向上のため、弱小茎や奇形茎は早めに切除する。灰色かび病は換気を十分行い、ハダニやアブラムシ類の発生も多くなるため、防除を徹底する。



しょうが

- 主茎7～8葉期に追肥と土寄せを行う。
- 追肥は窒素成分で5kg / 10a程度とし、根茎の肥大と品質向上を図るため、厚さ3～4cm程度土寄せを行う。

スイートコーン

- 気温が上昇し、アブラムシやアワヨトウ、アワノメイガなどの発生が多くなる。ほ場観察を徹底し、防除を行う。

夏秋いちご

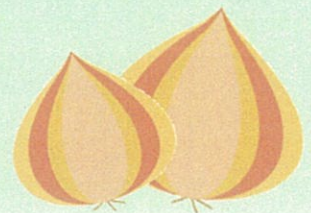
- 収穫のピークと盛夏期が重なり、株疲れが発生しやすくなるため、給液濃度の調整を行い、株の負担を軽減する。
- 収穫中、収穫を終えた果房や規格外果しかない花房を残すと株疲れや病害の発生源となるので、摘除する。
- 日射量を確保するため、寒冷紗は天候に合わせて掛け下ろしを行う。

キュウリ

- 曲がり果や尻太果などのくず果は、幼果のうちに摘果し、草勢維持に努める。新しい葉を陰にするような親葉や子づるの葉は摘葉する。ただし、1日1～2枚を上限とする。
- 褐斑病やべと病、うどんこ病の発生に注意し、防除を行う。

たまねぎ

- ネギハモグリバエの発生が多くなる時期なので、成虫の発生や食痕が見られるほ場は防除を行う。
- 中晩生種では、倒伏後、茎葉に青みがある間は、りん片腐敗病の防除を行う。
- 根切り作業は、土壌が乾いた晴天日に行う。ただし、陽射しが強く最高気温が30℃を超える日は、球に日焼けを生じる恐れがあるので行わない。
- 作業後は、茎葉に傷がつくので、防除を実施する。



軟白長葱

- アザミウマ類やネギハモグリバエの発生が多くなる時期なので、発生状況に注意し、防除を行う。
- アザミウマ類の寄生や食痕の多いほ場では黒斑病が発生しやすいため、防除と葉面散布などによる生育低下を防ぐ。

これから^{ひげん}の立ち位置を教壇から^{としあき}圃場へ

上美唄

久源 利明さん (52)

Q 就農のきっかけは？

●約29年間勤めた高校教師の定年も近づき、漠然とUターン就農を意識をしていました。リンダ・グラットンの著書「ワークシート」などにも背中を押された感じです。

Q 就農して思ったこと

●「百姓は百の仕事をごなすこと」と考えれば、まだその端緒についたばかりということ

Q 今の農業をどう思いますか？

●大きな転換期にある（と言われて
います）

Q これからの抱負

●前問の「転換期」の中、不易流行と
いう考え方を大切にしていきたい。

《利明さんの素顔に迫る》

Q 美唄の良いところは？

◇日の出も日の入りもよく見える農
村地帯

Q 今ハマっているものは？

◇バジル（初めて自分で育てていま
す）を使った料理づくり

Q 好きな食べ物は？

◇何でも。マヨネーズとパクチーは
苦手です

Q 行ってみたいところは？

◇東南アジアとロシア

Q お酒は？

◇弱い

Q 好きな言葉が座右の銘は？

◇誠実

プロフィール

・久源清策さん・嘉代さんの
次男（3人家族）
・昭和40年3月24日生
・趣味Ⅱギター
・作付Ⅱ水稲、小麦、大豆、果樹

こよみ・行事
8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 3日 ○農業倉庫竣工式
- 11日 ○山の日
- 14日 ○企画会議
- 15日 ○お盆休み（16日まで）
- 18日 ○定例理事会
- 20日 ○第23回JAびばい祭
- 22日 ○巡回ドック検診
- 23日 ○第2・四半期自治監査
- 23日 ○事業推進委員会

JAびばい祭来てね！



地域の話

27.07.04
【中村】

油断は禁物！

ビニールハウス天井に…

中村町にある杉野彰仁さんのビニールハウスにアライグマが侵入し、作付けしていたスイートコーンが食べられる被害が発生しました。

6月29日に被害を確認した杉野さんは翌日、ハウス側面に網を張る対策を取りました。しかし7月4日の朝、ハウス天井に1本の切れ目が…。なんとアライグマがビニールを切り裂いて侵入しており、6月29日から合わせて40本ものスイートコーンが被害に遭いました。

杉野さんは「ハウス栽培だからと甘く見ていた。食べごろばかり狙われて非常に残念。これからは電気柵も張って、被害を食い止めたい。管内で作付している方は十分注意をしてほしい」と話してくれました。



◀ハウス内は無惨にも倒され、食い散らかされたスイートコーンが残っていました。

◀天井には足跡とともに大きな切れ目が…。側面から入れず網や紐をつたって登ったようです。

JAグループ通信

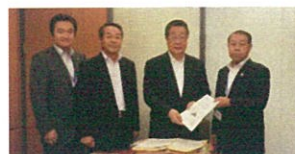
発信元：JAグループ北海道

第12号

JA北海道中央会



日EU・EPA交渉が大枠合意に至る可能性が高まっていることから、6月14日「日EU・EPA交渉から北海道農業を守り抜く要請運動」を実施し、日EU等経済協定対策本部(自民党)の幹部役員、道内選出与野党国会議員及び農林水産省に要請を行いました。乳製品、豚肉、小麦粉調製品、馬鈴しょ、でん粉等が大きな焦点になると想定されますが、十分な情報提供がないまま大枠合意に向うことに大きな不安が広がっています。引き続き、政府・与野党に対して衆参農林水産委員会決議(H28.12)に基づき、農林水産物重要品目の再生産を可能とする国境措置の確保や交渉内容・進捗状況について丁寧な情報提供を求める運動を展開していきます。



JA北海道信連



5月に、JA窓口職員のスキルを向上し、JA窓口をご利用いただく皆様のニーズに応えていく事を目的に「JAバンク北海道窓口セールスコンクール」を開催しました。当日は、各地区の予選等を突破した16名が「年金指定替部門」、「純新規推進部門」の2部門で接客や提案力を競いました。JAバンク北海道では、コンクールを通じて、より一層のお客様の満足度向上を目指して参ります。



ホクレン



ホクレンは、酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しておりますが、平成29年度から和牛繁殖農家の皆様に対する事業「冬期子牛飼養環境向上支援事業(和牛版)」を始めました。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。詳しい日程・事業内容については、JA担当課へ問い合わせください。



JA共済連北海道

社会貢献活動の一環として、昭和50年から継続して道内各自治体へ救急自動車を寄贈しています。道庁総務部の危機対策課へ寄贈先の選定審議を依頼しており、今年度は4台を寄贈予定。今年度の寄贈が完了すると累積寄贈台数は記念すべき200台を超え、202台を数えることとなります。今後も行政やJAと連携を図りながら交通事故防止と被害者救済への取組みを強化し皆様の為に貢献して参ります。



JA北海道厚生連



北海道厚生連では、イメージキャラクター「コウセイくん」を制作しました。医療をイメージした白に北海道の緑を取り入れた、のんびり優しい性格のシロクマくんです。今後、様々な場面で登場しますので、癒されるキャラクターとして親しんでいただきたいです。JA2MP(ジェイエイジャンプ)アプリで北海道厚生連を検索すると「コウセイくん」が登場しますので、皆さん是非会いに来てくださいね。



コウセイくん

消費者交流会
2017

想いも開きー



ハスカップについて説明する青年部員

最近一眼レフカメラに
はまってます！今回は…
青年部 交流委員会
渡辺 敬介（元本村）
が書きました！

私たちは7月8日、JAびばい農場などで消費者交流会を開催。美唄市で教員をしている10名の方に参加していただき、美唄市の特産物であるアスパラとハスカップの収穫体験や選果場とらいう工房を見学してもらいました。

め、ほ場を見学しながら青年部員が栽培方法などを説明。ハスカップは実際に収穫を体験してもらうことができました。その後は選果場に移動し、アスパラとハスカップがどのように出荷され、保管されるのかを見学してもらいました。参加した先生たちは知らない事だらけだったようで興味津々でした。

最後は更に交流を深めるために、らいう工房で焼肉をし、美唄産の農産物を堪能していただきました。土屋陽輔交流委員長は「先生を通して子供たちに食べることの大切さを学んでもらい、地元の基幹産業に興味を持ってもらえたら」と参加者らへ期待を込めました。

JAびばい
農場通信

ハスカップ

収穫作業



ハスカップ収穫の様子

6月20日から7月11日までの22日間、ハスカップの収穫作業が行われた。今年は北海道光生会爽やかネットワーク以外に、無料職業紹介からも人材が派遣され、延べ人数120名、収穫量330キととなった。

本年度収穫を迎えたハスカップ株は、平成27年から28年にかけて植えられた約900株。昨年の収穫量は73キで、前年の4.5倍となった。

川柳

気が急いてあれもこれもと病み上がり
リラ冷えが去ってヨサコイ花盛り
キヌ

夢はゆめ流した汗がものを言う
助け合おう心が通う町内会
みどり

不況風そ知らぬカオの向日葵は
踏ん切りがやつと付いたか冷や奴
俊朗

生い立ちへ今懐かしき亡母の鞭
黄昏の夫婦に満ちる愛の壺
裕子

夕焼けに明日のわたしを託します
いい夢を見せてはくれぬ風を抱き
米子

残花一輪まだ捨てきれぬ色を抱き
荒海へ泪の壺は捨てました
勝義

生きてます甘い言葉が聞きたくて
六畳にゴロリ味方のない背中
節子

共済ホットライン

第 95 号

～トラクターの安全運用のために《安全装備》《日常点検》を～

JAの自動車共済

毎年多くの農作業事故が発生しています。

特にトラクターによる事故はその被害が大きく、受傷した人はもとより農家経営全体にも重大な影響を及ぼします。

トラクターの使用にあたっては日常の点検・整備を行い、事故を防ぎましょう。

また、どんなに黄をつけていても発生してしまうのが事故です。事故に遭ってしまった
ときのために JAの自動車共済に加入しましょう。

発生している事故の事例

事例
1

ご家族がトラクターの
作業機に巻き込まれて
ケガをしてしまった



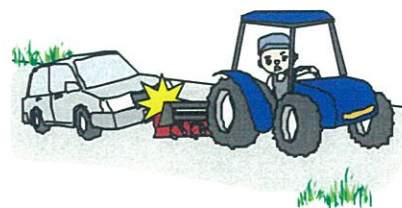
事例
2

ほ場への昇降路で横転
し、下敷きになってし
まった



事例
3

農道で追越をかけよう
とした後続車に追突さ
れてしまった



おすすめプラン

トラクターの運行中の事故により他人を死傷させてしまったとき、他人の車や物を壊してしまったときの保障、ご契約のトラクターに搭乗中の方（運転者を含む）への保障があり、ご安心いただけます。

共済掛金
(一時払)

新規

23,520 円

1 年間無事故の場合
継続契約の掛金

16,480 円

10 年間無事故の場合
継続契約の掛金

11,290 円

※現在の掛金率で試算した場合

● 契約内容 (自動車共済：共済期間 12 か月 自動継続割引あり 事故有係数適用期間：0 年)

等級：6 D 等級

人身傷害保障条項：5,000 万円

傷害定額給付条項：死亡 1,000 万円
治療共済金：倍額型

対人賠償：無制限

対物賠償：無制限 (免責 0 万円)

※複数のトラクターをお持ちの場合は、全てのトラクターにご加入ください。

(注) 自動継続特約を付加するなどの所定の条件を満たす場合、共済掛金が 2 % 割引かれます。

※上記掛金は平成 29 年 4 月時点の共済掛金です。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書 (契約概要)」を必ずご覧ください。

また、ご契約の際には、「重要事項説明書 (注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



《もしも》のために…加入しませんか？

【有効期限：平成 29 年 9 月 30 日まで】

【17019990006】

お問い合わせは…



JAびばい 信用部 共済推進課

(0126) 63-2164



JAバンク北海道
http://www.jabank-hokkaido.or.jp



会いたい人、
行きたい場所、
まだまだ、
やりたいことが
沢山ある。



年金お受取り・ご紹介キャンペーン

お受取り
手続きのご相談は
お気軽に!

2017 7.3月 ▶ 12.29金

全国
95,000カ所のATMなど、
便利!

JAでお受取りされる方へ

- ① 年金のお受取り口座をJAにご指定・開設
- ② すでにお受取りの年金をJA口座にご変更
- ③ 将来の年金のお受取り口座をJAにご予約

期間中、以上のいずれかをお申込みの方に

**今治「しまな美織」タオルセットを
プレゼント!**



JAにご紹介いただいた方へ

期間中、年金のお受取り口座をJAにご指定・ご変更・ご予約(年金受取口座の新規開設を含む)される

お客さまをご紹介いただいた方に

**今治フェイスタオル「白銀」、「紋ごのみ」を
いずれかおひとつプレゼント!**



※キャンペーンの詳細はJAによって異なりますので、お近くのJAにご確認ください。なお、プレゼント品は数に限りがございます。柄の指定はお受けしかねますので、ご了承ください。

J A の 概 況

<6月末>

○皆さんの貯金	25, 225, 063千円
○皆さんへの貸出金	4, 889, 469千円
○皆さんの出資金	715, 370千円
○組合員数	(正) 790人 (准) 3, 993人 (計) 4, 783人

美唄市農協生活改善
運動推進協議会



■お悔やみ申しあげます■
東明 欣平さん
(八十四歳)
六月十日死去

茶志内協和
▼千葉節子さん
(七十六歳)
六月二十日死去

編集後記

表紙でも紹介した30歳以下の青年部員とJA若手職員との合同研修会に年齢オーバーのため(笑)参加はさせてもらえませんでした。取材してきました!

表紙の写真通り、イスに腰を掛けて行うヨガをチェアヨガと呼び、普通のヨガに比べて足腰の負担が少なく、高齢者や体が不自由な方も簡単にできるそうです。この日はJA3階の大会議室にヨガインストラクターの目谷満里絵さんを招き、参加者全員でチェアヨガを体験しました。体験後は懇親会も開かれ、楽しい笑いが響いていました。

研修会に参加した金融課の本庄彩佳職員(27)は「ヨガは身体が硬いので難しかった。普段話す機会のない組合員と楽しく交流できてとてもよかった」と笑顔で話してくれました。



ヨガの先生



参加者

第23回 JAびばい祭

美唄産農産物使用

石釜ピザ販売!



注目のイベント

青年部企画

割って、振って、飲んで!!
パイロンで輪投げ
野菜の詰め放題対決!

JA企画

ちよリスがやってくる!
アンパンマンガチャガチャ
ローン相談会

キャラショー

宇宙戦隊 キュウレンジャー

などなど他にもたくさんご用意しています!

家族や友達

みんなで来てね!

平成29年
8月20日(日)

午前10時~大抽選会終了まで
JAびばい駐車場~雨天決行~

お問い合わせはコチラ



企画相談課(担当:小山)
TEL 63-2165
FAX 63-4600